

(前頁から)

つぎは、行政の機構改革ですが、市民の窓口として設けた市民相談室は、お蔭様で利用者も多く、うれしい悲鳴をあげています。大気汚染、河川の汚濁、騒音といった産業公害、都市公害の問題には市民の健康を守る立場から体当たりでぶつかっているつもりです。特に、ヘドロの問題では、自分のところで出したものは、自分のところで始末する。住民の環境保護の大前提に立つて処理をしていくつもりです。ともかく、70年代は人間尊重のときですから、英智を結集して公害問題に取り組むつもりです。

渡辺 産業公害については、市民サイドで取り組んでいただきたいですね。

高野 この間、九州へいつたときに、ヘドロの富士市の名があまりにも有名なのにビツクリしました。ヘドロのことは、私どもは新聞、テレビでしかわかりませんが、市長もたいへんだと思います。私は、これだけ騒れるとかえつて策を立てるのに楽ではないかと思いますが——どうでしょう。……これからの行政は、市役所だけにまかせておくのではだめだ。市民ももつと「われわれのまちは、われわれの手で」という責任感をもつて、市政に積極的に参加しなければ、このまちはよくなりませんね。

増田 そのとおりですね。

ほどほどにしたい

企業との密着

和田 私は富士市に住んでから、まだ5年足らずですが。率直にいつて、これまでの富士市は行政にしても、町内会にしても、学校にしても一いたるところあまりにも企業と密着しすぎていると感じましたね。だから、企業にいいたいこともいえない



市民福祉の向上はかる



富士市議会議長

中村新吾

市民の皆さま明けましておめでとうございます。

わが富士市は年ごとに隆盛の一途をたどり、いまや県東部の中核青年都市として伸展を続けています。

しかし、市民の福祉増進、生活の安定をはかるためには、なお多くの重要問題が山積みされております。とくに「公害」問題には皆さん等しく注目されていると思います。

当地区の公害問題は、高度経済成長のひづみとして、ますます複雑化の様相を呈し、社会的にも深刻な問題となつております。ヘドロ問題にしても、市議会としては市民皆さんの将来の幸福を念頭において万全を尽していますし、議員ひとりひとりが最大の努力をはらっていることは、申すまでもありません。

今年には公害対策の基本となる「住民の健康」と「生活環境の保全」を図る

ことを大前提とし、しかも地域経済の健全な発展との調和を基調とした「躍進する富士市」の年であると痛感します。申し上げるまでもなく、産業、経済、文化など各般にわたり年ごとに近代都市として整備されてきております

かかる新しい時代の動向に対し、われわれ市議会はつねに地方自治の究極の目的である、市民福祉の向上に最大の努力を傾けてまいります。こうした市政内外の実情とその重大性を深く銘記し、明るい青年富士市の発展のため全力を結集いたします。

なにとぞ市民みなさまにおかれましても、今後とも市議会に対し、従来に変わらないご指導、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

終りに市民みなさまひとりひとりのご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

…田子の浦港のヘドロを見せられて、何かそんなことを感じました。

市長 生きた政治をしていくには、常に市民の動向をしらなければいけない。昨年は町内会、各種の団体の方々と60数回にわたつて「市政を話しあう会」をもちました。対話を通じて感じたことなのですが、ご要望の多いことに驚きましたね。すぐに執行できるものもあれば、議会のご同意を得なければ反映できないものと、いろいろですが……中には、20年も前に役所がやるといつたものが、いま

だに実行されていない。役所のいうことなんかあてにならないと、手きびしい批判も聞きました。

行政不信では、どんな施策を打ち立てても「反発」だけしか、かえつてきませんからね。

荒岡 市長には悪いけど、市長はいままで公約したことを、何んにもやっていないのではないかと思つていました。がいま市長から、いろいろなことを聞いてよくわかりました。市長もたいへんだな (次頁へ)